

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2019年8月5日

**【四半期会計期間】** 第47期第2四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

**【会社名】** B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

**【英訳名】** B-R 31 ICE CREAM CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 渡辺 裕明

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

**【電話番号】** 03(3449)0331

**【事務連絡者氏名】** 執行役員管理本部経営管理部長 肥沼 邦幸

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

**【電話番号】** 03(3449)0331

**【事務連絡者氏名】** 執行役員管理本部経営管理部長 肥沼 邦幸

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第46期 第2四半期累計期間	第47期 第2四半期累計期間	第46期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高	(千円)	9,379,494	8,675,813	20,086,346
経常利益又は経常損失( )	(千円)	18,780	110,265	602,961
当期純利益又は四半期純損失( )	(千円)	20,734	69,567	282,302
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	735,286	735,286	735,286
発行済株式総数	(千株)	9,644	9,644	9,644
純資産額	(千円)	9,250,591	9,190,253	9,402,492
総資産額	(千円)	17,958,204	17,843,308	18,344,950
1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	2.15	7.22	975.77
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)	15.00	15.00	30.00
自己資本比率	(%)	51.5	51.5	51.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,068,635	704,781	1,920,307
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	804,354	891,326	410,184
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	357,570	359,695	693,822
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,485,787	1,849,136	2,395,376

回次		第46期 第2四半期会計期間	第47期 第2四半期会計期間
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	0.64	0.72

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第46期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日において当社が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期累計期間（2019年1月～6月）における日本国内の経済環境は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の増加など景気は引き続き回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向の不確実性、慢性的な労働力不足など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

また、アイスクリームを含めたデザート市場は年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが急速に進化し、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“ We make people happy ” 「アイスクリームを通じて、お客様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）” に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入と強化を進め、店舗の改装やスクラップ&ビルドにも引き続き積極的に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」、4月にはアイスクリームケーキ2品をリニューアルし、商品ラインナップを強化いたしました。また、“ミニオン”キャラクターを使用したバリュー・プロモーションや、平成最後の年（平成31年度）に因み、4月は「GOOD-BYE平成31」、ゴールデンウィークは「平成Thank youキャンペーン」、そして6月は昨夏好評だった「“ミニオン”・31・ジャック」などを実施いたしました。また、コミュニケーション・ターゲットは今年も情報発信力の強い女子中高生に設定し、31cLubやSNSでの告知を強化して来店を促進し売上の向上を図りました。

店舗施策として改装を49店実施した一方、戦略的なスクラップ&ビルドを推進した結果、期末店舗数は1,161店舗と前年同期末と同様となりました。

しかし、売上高は、昨年3月と4月に実施したソフトバンク社とのコラボレーション「SUPER! FRIDAY」を今年は実施しなかったこともあり、当第2四半期累計期間は86億75百万円（前年同期比92.5%）と前年同期間を下回りました。

売上原価は41億74百万円（前年同期比88.2%）、売上総利益は45億1百万円（前年同期比96.9%）と主に売上高の減少に伴い減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、物流効率化などの削減努力により減少しましたが、営業損失は1億73百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

以下、経常損失1億10百万円（前年同期は経常損失18百万円）、四半期純損失69百万円（前年同期は四半期純損失20百万円）となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

#### (2)財政状態の分析

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ5億1百万円減少の178億43百万円となりました。これは主に、繁忙期に向けた製品の増加4億44百万円があった一方で、売掛金の回収による減少が6億96百万円、現金の減少が5億46百万円あったことによるものです。

負債は前事業年度末に比べ2億89百万円減少の86億53百万円となりました。これは主に、未払金の増加が1億65百万円ありましたが、長期借入金の減少が2億14百万円及び未払法人税等の減少が1億59百万円あったことによるものです。

純資産は前事業年度末に比べ2億12百万円減少の91億90百万円となりました。これは主に、配当金の支払い及び四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、5億46百万円減少の18億49百万円となりました。

営業活動から得られた資金は、7億4百万円（前年同期は10億68百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費が6億94百万円、売上債権の減少額が6億96百万円、未払金の増加額が2億18百万円、たな卸資産の増加額が2億39百万円あったことによるものです。

投資活動に使用した資金は、8億91百万円（前年同期は8億4百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が6億7百万円、無形固定資産の取得による支出が1億24百万円、長期前払費用の取得による支出が1億28百万円あったことによるものです。

財務活動に使用した資金は、3億59百万円（前年同期は3億57百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が2億14百万円、配当金の支払いが1億44百万円あったことによるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

当社は、バスキン・ロピンス・フランチャイジング エルエルシーと“ライセンスおよび技術援助契約”を締結しており、アイスクリーム研究開発については同社で実施しているため、研究開発費は発生しておりません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

### ライセンスおよび技術援助契約

当社は、米国のバスキン・ロピンス・フランチャイジング エルエルシーとの間で次の内容の「ライセンス及び技術援助契約」を締結しております。

発効日：2019年6月22日

契約期間：1年間

- 契約内容：
- 1 バスキン・ロピンス31アイスクリームの日本国内における独占製造権及び販売権
  - 2 フランチャイズ方式によるバスキン・ロピンス31アイスクリーム販売店の組織化及びその運営に関するノウハウの日本国内における独占使用権
  - 3 バスキン・ロピンス31アイスクリームに係る商標権の日本国内における独占使用権及び同意匠権の日本国内における独占実施権
  - 4 ロイヤリティーの支払は売上高の一定率

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	38,003,000
計	38,003,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,644,554	9,644,554	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,644,554	9,644,554		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		9,644,554		735,286		241,079

## (5) 【大株主の状況】

2019年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
ダンキン ブランズ インターナショナル ホールディングス リミテッド (常任代理人 株式会社 三井住友銀行)	英国ロンドン クランウッドストリート5 - 7 フィンズゲート (東京都千代田区 丸の内1 - 3 - 2)	4,174	43.31
株式会社不二家	東京都文京区大塚2 - 15 - 6	4,174	43.31
フジ日本精糖株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1 - 4 - 9	25	0.25
萬運輸株式会社	神奈川県横浜市鶴見区駒岡5 - 1 - 16	24	0.25
浦山 詔雄	東京都北区	18	0.18
J Pモルガン証券株式会社	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 3	16	0.16
サーティワン従業員持株会	東京都品川区上大崎3 - 1 - 1	14	0.15
青野 和雄	千葉県船橋市	10	0.10
松山 和夫	神奈川県横浜市中区	10	0.10
名古屋 早苗	東京都新宿区	9	0.09
計	-	8,476	87.96

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,634,100	96,341	
単元未満株式	普通株式 1,854		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,644,554		
総株主の議決権		96,341	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式 8株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) B - R サーティワン アイスクリーム株式会社	東京都品川区上大崎 三丁目1番1号	8,600		8,600	0.09
計		8,600		8,600	0.09

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,395,376	1,849,136
売掛金	3,203,637	2,507,363
製品	750,395	1,194,507
原材料	645,025	520,630
貯蔵品	350,390	263,754
前渡金	40,772	183,092
前払費用	284,641	313,599
未収入金	152,365	242,523
その他	47,971	97,174
貸倒引当金	86	76
<b>流動資産合計</b>	<b>7,870,491</b>	<b>7,171,707</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	4,114,753	4,125,719
減価償却累計額	1,668,884	1,738,835
建物(純額)	2,445,869	2,386,884
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	214,776	224,287
構築物(純額)	222,924	213,413
機械及び装置	3,997,716	4,074,222
減価償却累計額	2,536,690	2,626,217
機械及び装置(純額)	1,461,026	1,448,005
賃貸店舗用設備	4,300,697	4,566,175
減価償却累計額	2,457,030	2,563,272
賃貸店舗用設備(純額)	1,843,667	2,002,903
直営店舗用設備	168,092	169,476
減価償却累計額	89,797	98,312
直営店舗用設備(純額)	78,294	71,163
車両運搬具	71,065	63,814
減価償却累計額	49,351	40,028
車両運搬具(純額)	21,714	23,785
工具、器具及び備品	828,352	760,539
減価償却累計額	633,542	575,759
工具、器具及び備品(純額)	194,810	184,779
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	92,698	1,740
<b>有形固定資産合計</b>	<b>7,056,366</b>	<b>7,028,038</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	327,651	489,845
ソフトウェア仮勘定	39,733	7,289
電話加入権	17,065	17,065
<b>無形固定資産合計</b>	<b>384,450</b>	<b>514,199</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	74,378	75,600
従業員に対する長期貸付金	3,003	2,462
破産更生債権等	139,865	180,950
長期前払費用	506,127	496,079
繰延税金資産	136,848	198,581
敷金及び保証金	2,181,193	2,188,519
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	27,460	32,517
投資その他の資産合計	3,033,642	3,129,363
固定資産合計	10,474,459	10,671,600
資産合計	18,344,950	17,843,308

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	580,568	531,538
1年内返済予定の長期借入金	430,204	330,228
未払金	1,655,648	1,820,895
未払費用	37,568	67,161
未払法人税等	175,568	16,292
未払消費税等	43,571	-
前受金	2,276,977	2,279,127
預り金	162,466	202,530
賞与引当金	42,375	38,346
役員賞与引当金	3,000	-
ギフト券回収損失引当金	186,386	173,733
その他	71,476	32,716
<b>流動負債合計</b>	<b>5,665,813</b>	<b>5,492,570</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,664,130	1,549,124
退職給付引当金	166,719	170,075
役員退職慰労引当金	85,900	93,680
資産除去債務	128,197	128,571
長期預り保証金	1,231,698	1,219,034
<b>固定負債合計</b>	<b>3,276,645</b>	<b>3,160,485</b>
<b>負債合計</b>	<b>8,942,458</b>	<b>8,653,055</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	735,286	735,286
<b>資本剰余金</b>		
資本準備金	241,079	241,079
<b>資本剰余金合計</b>	<b>241,079</b>	<b>241,079</b>
<b>利益剰余金</b>		
利益準備金	168,676	168,676
<b>その他利益剰余金</b>		
固定資産圧縮積立金	39,512	39,512
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,094,676	3,880,569
<b>利益剰余金合計</b>	<b>8,442,866</b>	<b>8,228,758</b>
自己株式	16,893	17,083
<b>株主資本合計</b>	<b>9,402,337</b>	<b>9,188,039</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	154	18
繰延ヘッジ損益	-	2,195
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>154</b>	<b>2,213</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,402,492</b>	<b>9,190,253</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,344,950</b>	<b>17,843,308</b>

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,379,494	8,675,813
売上原価	4,732,789	4,174,416
売上総利益	4,646,705	4,501,396
販売費及び一般管理費	1 4,718,286	1 4,675,138
営業損失( )	71,581	173,741
営業外収益		
受取利息	512	316
店舗用什器売却益	23,547	31,178
販売済未使用ギフト券収入	15,781	38,919
受取ロイヤリティ	15,064	8,274
その他	16,426	5,268
営業外収益合計	71,332	83,958
営業外費用		
支払利息	7,251	8,250
店舗設備除去損	10,794	10,500
その他	485	1,731
営業外費用合計	18,531	20,482
経常損失( )	18,780	110,265
特別利益		
固定資産売却益	277	249
特別利益合計	277	249
特別損失		
固定資産売却損	236	-
固定資産廃棄損	22,300	25,752
災害損失	630	180
特別損失合計	23,166	25,932
税引前四半期純損失( )	41,669	135,948
法人税等	20,935	66,381
四半期純損失( )	20,734	69,567

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	41,669	135,948
減価償却費	647,851	694,718
受取ロイヤリティ	15,064	8,274
販売済未使用ギフト券収入	15,781	38,919
店舗用什器売却益	23,547	31,178
店舗設備除去損	10,794	10,500
固定資産売却益	277	249
固定資産売却損	236	-
固定資産廃棄損	22,300	25,752
災害損失	630	180
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,240	5,046
賞与引当金の増減額( は減少)	2,702	4,029
ギフト券回収損失引当金の増減額( は減少)	10,189	12,653
退職給付引当金の増減額( は減少)	469	3,356
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	7,756	7,780
受取利息	512	316
支払利息	7,251	8,250
売上債権の増減額( は増加)	551,491	696,274
破産更生債権等の増減額( は増加)	19,115	41,085
たな卸資産の増減額( は増加)	316,627	239,545
仕入債務の増減額( は減少)	192,699	49,030
前渡金の増減額( は増加)	67,138	142,320
前払費用の増減額( は増加)	18,104	28,957
未払金の増減額( は減少)	219,357	218,967
前受金の増減額( は減少)	43,873	2,149
未収入金の増減額( は増加)	32,338	90,158
役員賞与引当金の増減額( は減少)	3,000	3,000
預り金の増減額( は減少)	66,783	40,063
未払消費税等の増減額( は減少)	26,993	43,571
その他	20,923	15,959
小計	1,172,972	859,759
利息及び配当金の受取額	384	871
利息の支払額	7,239	6,601
災害損失の支払額	450	-
法人税等の支払額	97,032	149,247
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,068,635</b>	<b>704,781</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	1,400	1,418
有形固定資産の取得による支出	497,184	607,918
無形固定資産の取得による支出	44,405	124,948
資産除去債務の履行による支出	1,300	-
長期前払費用の取得による支出	148,337	128,530
敷金及び保証金の差入による支出	241,381	38,328
敷金及び保証金の回収による収入	113,802	25,869
預り保証金の受入による収入	34,168	750
預り保証金の返還による支出	18,314	16,800
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>804,354</b>	<b>891,326</b>

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,000,000	-
短期借入金の返済による支出	2,000,000	-
長期借入金の返済による支出	164,980	214,982
自己株式の取得による支出	-	190
配当金の支払額	192,590	144,522
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>357,570</b>	<b>359,695</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	93,289	546,239
現金及び現金同等物の期首残高	1,579,076	2,395,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,485,787	1,849,136

## 【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

## 税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
運賃及び保管費	706,041千円	653,896千円
広告宣伝費	1,138,869 "	1,219,616 "
ロイヤリティー	97,589 "	83,365 "
賃借料	246,228 "	233,300 "
給料手当及び賞与	538,989 "	515,324 "
賞与引当金繰入額	28,087 "	27,465 "
退職給付費用	49,686 "	30,116 "
役員退職慰労引当金繰入額	7,756 "	7,780 "
雑給	68,751 "	62,257 "
販売促進費	515,596 "	462,962 "
店舗対策費	254,502 "	205,245 "
減価償却費	197,134 "	216,290 "
貸倒引当金繰入額	1,762 "	5,046 "

- 2 売上の季節的変動

前第2四半期累計期間(自2018年1月1日 至2018年6月30日)及び当第2四半期累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

当社では、主として夏季に需要が伸びる製品の製造・販売を行っているため、第2、第3四半期会計期間の販売実績が、他の四半期会計期間に比べて高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
現金及び預金	1,485,787千円	1,849,136千円
現金及び現金同等物	1,485,787千円	1,849,136千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月16日 定時株主総会	普通株式	192,719	20.00	2017年12月31日	2018年3月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年7月27日 取締役会	普通株式	144,539	15.00	2018年6月30日	2018年9月4日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月15日 定時株主総会	普通株式	144,539	15.00	2018年12月31日	2019年3月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月26日 取締役会	普通株式	144,539	15.00	2019年6月30日	2019年9月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額( )	2円15銭	7円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	20,734	69,567
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	20,734	69,567
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,993	9,635,984

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2019年7月26日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

(イ) 中間配当による配当金の総額..... 144,539千円

(ロ) 1株当たりの金額..... 15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日...2019年9月3日

(注) 2019年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月5日

B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

取締役会御中

PWCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 萩 森 正 彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているB - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第47期事業年度の第2四半期会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、B - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。